

JSS



だより

2017年 第5号

2017年10月21日

カラー版: <http://www.jss.edu.sg/>

「お月見集会」が行われました。

10月14日に全学年を対象とした「お月見集会」が行われました。今年は日本人会「絵本と紙しばいの会」の方々をお招きし、日本文化の紙しばい、しかけ絵本、スライド絵本と手遊びを楽しむという、盛りだくさんのとても素晴らしい集会でした。集会は小学校高学年と中学生、2年生と4年生、1年生と3年生と、3回に分けて行われました。

校長先生から、お月見について色々なことを教えて頂きました。今年は10月4日が中秋の名月でした。シンガポールでは中秋節といい、月餅を食べながらお月さまを見る日で、日本では、平安時代に最も美しく見える月(満月)を觀賞することから始まり、また、農作物の豊作を祈り、収穫を感謝する日であるそうです。



<校長先生のお話>



<しかけ絵本「ほしい」>

小学校高学年と中学生の紙芝居は、「なめとこやまの熊」でした。命の大切さを問う哲学的なお話でした。1年生から4年生までは「げたにばける」でした。こだぬきがおかあさんたぬきと一生懸命に“化ける”練習をしている最中にトラブルに合い、最後は大好きなまんじゅうを手に入れるというほのぼのしたお話でした。この後は、全校生にしかけ絵本「ほしい」を読んで頂きました。縦に縦に長くのびる絵本でした。何でも手にできる若様が欲しかったものは何だったのか、お子様に是非尋ねてみて下さい。最後にスライド絵本「たぬきのおつきみ」を読んで頂きました。スライドを通して最後に見た絵は、お月様が思わず笑ってしまうようなたぬき達の様子でした。紙しばいは絵本とは違い、ずらしながら絵を重ねることができるので、絵本では味わえないわくわく感や臨場感が味わえたのではないのでしょうか。最後に手遊び「十五夜さんのもちつき」をしました。お餅をつく動作の手遊びで2人1組になり、児童生徒、先生、ボランティアの皆さま全員で盛り上がりました。



<スライド絵本「たぬきのおつきみ」の読み聞かせ>



<「十五夜さんのもちつき」の手遊び>



<「月」の歌>



<証城寺の狸囃子(しょうじょうじのたぬきばやし)の歌>

お話の後、小学校高学年と中学生は「証城寺の狸囃子(しょうじょうじのたぬきばやし)」を、独特のリズムを楽しみながら歌い、その他の学年は「月」を歌いました。「月」の歌では“まんまるいぼんのような月”や“まっくろいすみのようなくもに”の歌詞の意味を考えながら歌いました。短い時間ではありましたが、日本の伝統行事と秋を感じる時間を楽しんだのではないのでしょうか。



<日本人会「絵本と紙しばいの会」の方々>

会の最後には、児童生徒の代表者が「絵本と紙しばいの会」の方々へ「お礼の言葉」を述べてくれました。低学年の児童代表者から花束を「絵本と紙しばいの会」の方々へ渡しました。

このような貴重な紙しばいを体験させていただき、心からお礼申し上げます。日本人会「絵本と紙しばいの会」の方々、本当にありがとうございました。

また、今回「お月見集会」のボランティアに参加してくださった保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

PA 役員一同